

令和5年度奨学生募集要項

公益財団法人辻国際奨学財団

令和5年度奨学生募集要項

公益財団法人辻国際奨学財団

1.趣 旨

本財団は、主として発展途上国からの留学生等に対し、奨学支援を行い、これら諸国との国際相互理解の促進および親善に寄与することを目的としています。

「みんな仲良く助け合う」という理念のもと、志操堅実、成績優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対し奨学金を支給して援助するほか、交流会開催や交流研修旅行の実施、会報誌の発行等の交流事業をおこなっています。

そのため、学問的に優秀なだけでなく、国際交流と友好親善に関心を持ち、当財団の交流事業に参加できる方を募集いたします。

2.交流事業の主な内容

毎月奨学金を支給するほかに、全奨学生の参加・協力を得て、主に次の交流事業をおこなっています。

- (1) 月次交流会の開催・・・毎月1回、土曜日午後に交流会を開催し、奨学生による各国文化紹介発表や、会食・懇談をおこなう（交流会席上にて奨学金を手交）
- (2) 研修交流旅行の実施・・・1泊2日の研修交流旅行をおこなう（年1回を予定）
- (3) 会報誌等の刊行・・・奨学生の分担執筆・寄稿により、会報誌「国際交流 みんな仲良く」、を編集・刊行する
- (4) OB・OG交流会の開催・・・卒業生を招きOB・OG交流会を開催する

3.奨学生の応募資格（下記の資格すべてに該当すること）

- (1) 主として発展途上国から来日し、日本以外の国籍を有している私費留学生
- (2) 大学学部及び大学院正規課程に在学する者で、2023年4月1日現在の年齢が35歳以下の者
※ただし、2023年4月に修士課程または博士課程1年になる者は、応募時に進学が決定している者のみ可とする。なお、秋入学の者は、2023年4月の時点で卒業まで1年以上の期間がある者のみ可とする。
- (3) 経済的に奨学金を必要とする状況にあることが客観的に認められる者
- (4) 人格、学業ともに優秀であり、志操堅実かつ健康である者
- (5) 日本語によるコミュニケーションに支障がない者（交流会での会話、発表や会報誌の分担執筆、電話やe-mailによる連絡等はすべて日本語で行います）
- (6) 国際理解と友好親善に関心を持ち、相互交流・協調の精神を有する者
※このため、上記「2. 交流事業の主な内容」の項に掲げる諸事業に積極的に参加・協力できる者であること（月次交流会、交流行事に必ず参加できること）

- (7) 在留資格「留学：college student」を有する者
- (8) 当財団の奨学金受給期間に正規の職（常勤職）に就く予定のない者
- (9) 当財団の奨学金受給期間に海外留学およびインターンシップの予定がない者
- (10) 当財団の奨学金受給期間に他の奨学金等を受給しない者（他の奨学金・助成金・フェローシップ等との併給は、金額に関わらず認めません）
- (11) 過去に辻国際奨学財団および辻アジア国際奨学財団の奨学金を受けていない者
- (12) 奨学期間終了後も、OB・OG交流会等の交流活動に積極的に参加協力できる者

4.対象学年（2023年4月時点の学年）

- (1) 学部学生： 3年・4年
 - (2) 大学院生： 修士課程 1年・2年 / 博士課程 1年・2年・3年
- ※医歯学系等、6年制の場合は3年・4年・5年・6年

5.奨学期間

原則として2023年4月から2025年3月までの2年間（秋入学の者は1年半または2年間）とします。

※1 ただし、1年目から2年目への継続については、勉学の状況および交流事業への参加・協力状況によって決定します。

※2 各課程の最終学年在学学生は、その上級の課程（学部から大学院、修士課程から博士課程、博士前期課程から博士後期課程）に引き続き進学しない場合は1年間で支給を終了します。

6.奨学金支給金額

月額15万円

※1 毎月開催の交流会の際に手渡しで支給します。欠席の場合には原則として支給しません。ただし、下記については、事前に関係資料を付して届けを提出した場合、その扱いについて検討いたします。

- (1) 本人の病気の場合
- (2) 重要な学会等での研究発表の場合
- (3) 大学の試験と重なる場合
- (4) その他、当財団がやむを得ぬ事由であると認めた場合

※2 奨学金の返済義務はありません。

7.募集人員

13名程度（対象大学 13大学を予定）

8.募集方法

当財団が募集を依頼した大学が奨学生候補者を選び、当財団へ推薦する方法でおこないます。

※学生からの直接の応募、問い合わせは受け付けません。

9.応募の手続き

下記の書類を、返送締切日【2022年12月5日（月）】までに、大学の担当部署から、推薦人数分をまとめて当財団に送付してください。

(1) 所定の用紙によるもの

- ① 令和5年度辻国際奨学財団奨学金申請書（日本語 本人自筆 写真貼付）
- ② 履歴書・身上書（日本語 本人自筆）
- ③ 留学の目的および将来の進路（日本語 本人自筆）
- ④ 推薦書（日本語 指導教員自筆 指導教員により厳封のこと）
- ⑤ 誓約書（日本語 本人自筆）

(2) 添付書類等

- ① 在学証明書、または入学許可書（コピー可）
 - ・ 4月より修士課程、博士課程に進学が決定している学生は、在学証明書の他に、修士または博士に進学確定の証明となる書類も添付する。返送締切日に添付が間に合わない場合は、その旨と発行予定日をメモ書きにて添付の上、発行され次第郵送のこと
- ② 成績証明書（コピー不可、オリジナルを提出）
 - ・ 学部生：在籍している大学の直近まですべての成績証明書
 - ・ 大学院生：学部1年生から直近まですべての成績証明書（母国の成績証明書を取り寄せる場合のみ、コピーでも可とする。必ず和訳を添付すること）
- ③ 外国人登録証明書、もしくは在留カードの写し（※コピー見本を参照のこと）
- ④ 写真2枚（45mm×35mm 上半身正面で、応募の6カ月以内に撮影したもの）
 - ・ 裏面に氏名、大学名、国籍を記入し、1枚は「奨学金申請書」に貼りもう1枚は同封する

※1 書類不備・判読不可能・虚偽の場合は失格とします。

※2 応募提出書類の返却はいたしません。

※3 申込書類は、コピーをしますから、ホチキスで止めないでください。

10.選考および決定

- (1) 推薦された学生を、当財団選考委員会において書類選考のうえ合格者を決定します。
- (2) 合格者については、選考委員会（令和5年2月18日予定）の翌週に当財団から大学に通知し、大学より本人に通知していただきます。面談にて応募資格、募集条件に沿っているか等確認し、最終採択決定といたします。

11.奨学金の停止または打ち切り

奨学生が次の各号の一に該当するときは、奨学金の停止または打ち切りをいたします。

- (1) 在学する大学における学籍を失ったとき
- (2) 休学、長期欠席、3週間以上日本を離れたとき、または外国へ留学したとき

- (3) 病気その他の理由により修学または研究を継続する見込みがないとき
- (4) 指導教官から修学または研究の継続が不適格と認められたとき
- (5) 学業成績または素行が不良となったとき
- (6) 原級にとどまったとき（留年）、または卒業延期の恐れが生じたとき
- (7) 応募申請書類（添付書類を含む）の記載事項に虚偽が認められたとき
- (8) 正規に就職した場合（非常勤を含む）、または奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (9) 他財団等から奨学金（助成金・フェローシップ等を含む）を受給するとき
- (10) その他留学生としての資格を失ったとき
- (11) 当財団の事務局と連絡が取れなくなったとき、またはその指示や指導に従わなかったとき
- (12) 当財団もしくは当財団の支援企業の名誉を傷つけ、または著しく迷惑をかけたとき

12. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 申請書に記載された個人情報は、奨学生の選考、結果の通知、採用後の各種通知、連絡のみに使用し、他の目的には一切使用いたしません。
 - ※1 ただし、合格者については、国籍、性別、在籍大学、研究分野等を記載した奨学生名簿を財団関係者に配布、および会報誌等に掲載することがあります。
 - ※2 また、奨学金の重複支給の確認のため、大学担当者および他の奨学団体に「採用予定奨学生一覧」を提供する場合がございますのでご了承ください。
- (2) 不合格者の申込書類は、一定期間財団で保管した後廃棄処分します。

問い合わせ・申請書類送付先

公益財団法人辻国際奨学財団 事務局

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1

Tel03-3779-9108 Fax03-3779-8180

Email tsujikokusai@sanrio.co.jp

令和5年度 辻国際奨学財団奨学金申請書

申請者の氏名等

フリガナ					写 真 (カラー) (6ヵ月以内に撮影した 写真を貼付) 4.5×3.5cm、 上半身、正面、脱帽 裏面に氏名、大学名、国籍を 記入のこと			
氏 名								
パスポート 記載の英文								
国 籍		性 別	男 ・ 女					
生年月日	年	月	日生	年 齢	[2023.4.1現在]	歳	配 偶 者	有 ・ 無
自国住所								
現住所	〒()					最寄駅 線 駅 バス / 徒歩 分		
TEL	※必ず連絡が取れるものを記入					所要時間 (自宅→大崎駅) 分		
Email	@ ※必ず連絡が取れるものを記入							

在籍する大学に関すること (2023年4月の状況を書く)

在籍大学 または 在籍大学院	☐ 大学 ☐ 大学院		☐ 学部 ☐ 修士 ☐ 博士 () 年	
	☐ 学部 ☐ 研究科		入学年月	年 月
			卒業予定	年 月
	☐ 学科 ☐ 専攻		来日年月日	年 月 日
			2023 年 4 月までの日本在留年数 (延べ) 年 カ月	
指導教官	[フリガナ] 氏 名		所属 : 役職名 :	

留学生 担当部署 (申請窓口 が記入)	担当部署名	TEL
	担当者名	Email @

履 歴 書 ・ 身 上 書

氏名		奨期 学 希 望 間	1. 1年 (2023.4～2024.3) …来春卒業して進学しない方 2. 1年半 (2023.4～2024.9) …9月入学の方 3. 2年 (2023.4～2025.3) …上記以外(来春卒業後、現大学の 上級課程進学予定者を含む)
----	--	------------------------	--

学歴等

学 歴	期間	学校名	課程	所在地 (国と都市名)	専攻	正規数	卒業・中退
	年 月～ 年 月	高校				年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月～2023年4月現在		学・修・博			年	在学中・在学予定

進 路	2023年4月時点で在学している課程卒業後の予定	☐ 現在の大学の次の課程に進学予定： 1. 修士 2. 博士(合格発表予定 年 月頃) ☐ 日本の他大学へ進学希望 ☐ 日本で就職希望 ☐ 帰国予定： 1. 進学希望 2. 就職希望 ☐ 日本以外の国()へ留学希望 ☐ その他()
--------	--------------------------	--

職 歴	期間	勤務先・企業名	所在地 (国と都市名)	職務内容・部署名・役職名
	年 月～ 年 月			
	年 月～ 年 月			

兵役	過去	年 月～ 年 月	将来の予定	年 月～ 年 月 予定・未定
----	----	----------	-------	----------------

ブ ラ ン ク	年 月～ 年 月	理由	
------------------	----------	----	--

趣味・特技等

そ の 他	賞	趣味・特技	資格・免許

家族状況 (2023年4月1日現在)

家 族 状 況	氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先名と部署・役職・学生・学校名 (具体的に、詳しく記入すること)	年収 (円換算)
		父				万円
		母				万円
						万円
						万円
						万円

経済状況

氏名：

収入内訳（月平均金額を記入する）			支出内訳			
令和4年度の状況	仕送り	月額 _____ 円 うち授業料充当分（月額 _____ 円） 送金者名（ _____ ） 申請者との関係（ _____ ）	授業料分を引いた仕送り月額	授業料	実際に支払った授業料： 年額 _____ 円 上記金額は、 ☐ 免除なし ☐ 一部減免後（減免額 _____ 円） ☐ 全額免除後 ↓ そのうち、仕送りで支払った額： 月額 _____ 円 × 12 = 年額 _____ 円 ↓ 仕送りで支払った額を引いた、授業料本人負担額： 年額 _____ 円	授業料本人負担月額 ※小数点以下切り捨て 月額 _____ 円
	奨学金	奨学金の名称：（ _____ ） 期間： _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月	月額 _____ 円		月額 _____ 円	
	その他収入	☐ アルバイト 内容（ _____ ） 時給（ _____ 円） 月額 _____ 円 ☐ その他 （ _____ ） 月額 _____ 円	月額 _____ 円	住居費	同居人： ☐ なし ☐ あり（ _____ 名）・申請者との関係（ _____ ） 居住形態： ☐ 国際交流会館 ☐ 寮 ☐ アパート ☐ その他（ _____ ）	月額 _____ 円
月平均収入 計			月額 _____ 円	月平均授業料・住居費 計		月額 _____ 円

収入内訳（月平均金額を記入する）			支出内訳			
令和5年度見込み	仕送り	月額 _____ 円 うち授業料充当分（月額 _____ 円） 送金者名（ _____ ） 申請者との関係（ _____ ）	授業料分を引いた仕送り月額	授業料	授業料： 年額 _____ 円 免除が現時点で確定している場合、上記金額は、 ☐ 一部減免後（減免額 _____ 円） ☐ 全免後 ↓ そのうち、仕送りで支払った額： 月額 _____ 円 × 12 = 年額 _____ 円 ↓ 仕送りで支払う額を引いた、授業料本人負担額： 年額 _____ 円	授業料本人負担月額 ※小数点以下切り捨て 月額 _____ 円
	その他収入	☐ アルバイト 内容（ _____ ） 時給（ _____ 円） 月額 _____ 円 ☐ その他 （ _____ ） 月額 _____ 円	月額 _____ 円	住居費	同居人： ☐ なし ☐ あり（ _____ 名）・申請者との関係（ _____ ） 居住形態： ☐ 国際交流会館 ☐ 寮 ☐ アパート ☐ その他（ _____ ）	月額 _____ 円
	月平均収入 計			月額 _____ 円	月平均授業料・住居費 計	

授業料免除が未確定の場合：

- ☐ 申請中(予定)→申請種類 ☐ 全額免除 ☐ 一部減免
☐ 免除の種類は大学側が決定
 結果発表予定 _____ 年 _____ 月頃
☐ 申請予定なし（理由： _____ ）
☐ 免除制度なし

併願状況	令和5年度のため大学推薦以外に個人で他の奨学金に ☐ 応募していない ☐ 応募している（複数ある場合は余白に記入）				
	申請中の他奨学金	名称： _____	月額 _____ 円	期間： _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月	結果発表予定： _____ 年 _____ 月 _____ 日
	※併願している他の奨学金に採択された場合、当財団を優先する方のみ応募可能です ☐ 了解しました				

留学の目的および将来の進路

在籍大学	氏名	国籍
日本留学の動機と目的		
将来の進路		

【記入上の注意】

※本人自筆にて日本語で記入すること

※「日本留学の動機と目的」については、何のために日本に来て勉強するのかを明確に書くこと

※「将来の進路」については、日本での留学の成果を将来どのように生かすか、現在の研究（専攻）との関連性を含めて、希望する進路を書くこと

公益財団法人辻国際奨学財団 理事長 殿

推 薦 書

記入者	大学名		所属	
	役職		氏名	④
	推薦する学生との関わり		記入日	年 月 日

下記の学生を辻国際奨学財団奨学生に推薦します。

被推薦者	学生氏名	
学業面		
人物面		
経済的困窮度・将来性・その他特筆事項等		

※すべて自筆にて記入の上、記入者本人による厳封にてご提出をお願いいたします

誓 約 書

年 月 日

公益財団法人辻国際奨学財団

理事長 辻 信太郎 殿

所属大学

氏 名

私は、応募書類に記入した内容および提出書類に虚偽のないことを、ここに誓います。

また、貴財団の奨学生募集要項に記載された内容を理解し、奨学生に採択された場合は、勉学・研究に励むとともに、貴財団が毎月開催する交流会その他の行事・事業（交流旅行・会報誌の編集刊行等）に参加・協力し、相互理解と友好親善に努めることを誓約いたします。

なお、貴財団の認める理由なく交流会を欠席した場合には、奨学金の支給が受けられなくても異議ありません。

応募申請書類記入上の注意

以下に、応募申請書類全体の記入上の注意と、各応募所定用紙についての記入上の注意を記載いたしますので、申請に際しては、よくお読みの上間違いのないようにご記入ください。

■全体

1. 黒のボールペンまたは万年筆を使用し、日本語で記入してください(フリクションペン等、文字が消えるペンは不可)。
2. すべての項目にもれなく正確に記入してください。
3. アルファベット(氏名の英語表記やメールアドレス等)は活字体で読みやすく記入し、数字は算用数字を用いてください。□は該当するものにマークしてください。
4. 修正がある場合は二重線を引き、本人または大学担当部課(留学生課等)担当者様の訂正印を押印してください。
5. 記入内容が枠内に収まらない場合は、枠外に記入するか、別紙を添付してください。
6. 書類不備・判読不可能・虚偽の場合は失格とします。
7. 奨学生に採択された後、応募申請書類(添付書類を含む)の記載事項に虚偽が認められたときは、即刻奨学金の打ち切りとし、遡って奨学金を返却していただきますので、ご注意ください。

■応募所定用紙①「令和5年度 辻国際奨学財団奨学金申請書」

応募所定用紙②-1、②-2「履歴書・身上書」

1. 次ページ以降に、記入見本を用いて注意事項を記載いたしますので、参照の上、本人自筆にて記入してください。

■応募所定用紙③「留学の目的および将来の進路」

1. 本人自筆にて記入してください。
2. 「日本留学の動機と目的」については、何のために日本に来て勉強するかを明確に書いてください。
3. 「将来の進路」については、日本での留学の成果を将来どのように生かすか、現在の研究(専攻)との関連性を含めて、希望する進路を書いてください。

■応募所定用紙④「推薦書」

1. 担当教授(指導教員)の自筆にてご記入(PC入力は不可)・押印の上、記入者本人による厳封にてご提出ください。

■応募所定用紙⑤「誓約書」

1. 本人自筆にて記入してください。

■以下、番号と記入見本の該当箇所を対照し、間違いのないようにご記入ください。

<応募所定用紙①「令和5年度 辻国際奨学財団奨学金申請書」>

①氏名が漢字の場合は漢字で記入し、フリガナはカタカナで書く。漢字以外の場合は、氏名の自国語の発音をカタカナで記入する。

②香港、内モンゴル、ウイグル自治区は、中国(〇〇〇)と記入する。

③配偶者「有」の場合は、応募所定用紙②-1の「家族状況」に配偶者の年収(アルバイトや奨学金も含む)を記入する。

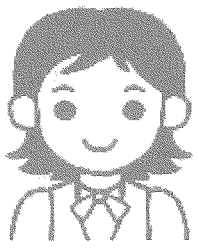
④通常と異なる学年制の場合(学部6年制や5年一貫制博士課程等)は、余白にその旨記入する。

⑤こちらの欄は、大学担当部課(留学生課等)の担当者様が、直接ご記入ください。

応募所定用紙①

令和5年度 辻国際奨学財団奨学金申請書

申請者の氏名等

フリガナ	① ウ エン Chun				
氏名	呉 晏 君				
パスポート 記載の英文	Wo Yen Chun				
国籍	② 台湾	性別	男・ ☒ 女		
生年月日	1995年11月1日生	年齢	[2023.4.1現在] 27歳	配偶者	有・ ☒ 無 ③
自国住所	台湾 台北市 〇〇街 〇号〇樓××				
現住所	〒(123 - 4567) 東京都新宿区高田馬場1-2-3 東寮103号		最寄駅 JR 山手 線 高田馬場 駅 バス ☒ 徒歩 8分		
TEL	080-〇〇〇〇-××××		※必ず連絡が取れるものを記入 所要時間(自宅→大崎駅) 35分		
Email	wo_yc1234 @ kokusai.ac.jp ※必ず連絡が取れるものを記入				

在籍する大学に関すること(2023年4月の状況を書く)

在籍大学 または 在籍大学院	国際大学	☐ 大学 ☒ 大学院	☐ 学部 ☒ 修士 ☐ 博士 (2) 年 ④
	情報理工学	☐ 学部 ☒ 研究科	入学年月 2022年 4 月 卒業予定 2024年 3 月
	システム情報学	☐ 学科 ☒ 専攻	来日年月日 2020年10月9日 2023年4月までの日本在留年数 (延べ) 2年5ヵ月
指導教官	(フリガナ) ニホノ タロウ 氏名 日本 太郎 所属: 国際大学理工学部 役職名 教授		

留学生 担当部署 (申請窓口 が記入)	担当部署名	学務部留学生課	TEL	03-××××-〇〇〇〇
	担当者名	トウキョウ ハナコ 東京 花子	Email	abcde @ kokusai-u.ac.jp ⑤

<応募所定用紙②-1「履歴書・身上書」1ページ目>

- ①高校入学以降現在に至るまでを、日本語学校も含め、古い順から時系列に記入する。
- ②その学校で卒業(修了)に必要なとされる正規年数を記入のこと。学歴欄の期間が正規年数に満たない、あるいは超過している場合は、「飛び級」「留年」等の理由を余白に記載する。
- ③アルバイト以外の職歴を書く。
- ④学歴、職歴に1年以上のブランク期間がある場合は、その間何をしていたか記入する。
- ⑤論文・研究発表等の受賞歴、芸術系は専攻科目に関する受賞歴を記入する。
- ⑥父母のほか、兄弟姉妹・配偶者・子供についても記入する。死亡の場合は「死亡」、離婚・離別の場合は「離別」と記入のこと。
- ⑦部署や役職等も具体的に記入すること(在学中の場合は学校名と学年を記入)。
- ⑧日本円に換算し、10万円未満は四捨五入とする。退職されていて年金受給がある場合は、受給額(年額)を記入する。

応募所定用紙②-1

履 歴 書 ・ 身 上 書

氏名	吳 毛 君	奨期 学 希 望 期	1. 1年 (2023.4~2024.3) ...来春卒業して進学しない方 2. 1年半 (2023.4~2024.9) ...9月入学の方 3. 2年 (2023.4~2025.3) ...上記以外(来春卒業後、現大学の上級課程進学予定者を含む)
----	-------	------------------------	--

学歴等	期間	学校名	課程	所在地 (国と都市名)	専攻	正規年数	卒業・中退
① 学 歴	2010年4月~2013年3月	台北市〇〇高校		台湾・台北	②	3年	卒業・中退
	2013年4月~2013年10月	台北大学	学・修・博	台湾・台北	応用工学	4年	卒業・中退
	2015年4月~2019年3月	ハワイ大学	学・修・博	アメリカ・ハワイ	情報工学	4年	卒業・中退
	2020年10月~2021年9月	大城日本語学校	学・修・博	日本・東京	(日本語学校)	年	卒業・中退
	年 月~ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月~ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	年 月~ 年 月		学・修・博			年	卒業・中退
	2022年4月~2023年4月現在	国際大学大学院	学・修・博	日本・東京	システム情報学	2年	在学中・進学予定

進路	2023年4月時点で在学している課程卒業後の予定	■現在の大学の次の課程に進学予定: 1. 修士 2. 博士(合格発表予定 2023年11月頃) ☐ 日本の他大学へ進学希望 ☐ 日本で就職希望 ☐ 帰国予定: 1. 進学希望 2. 就職希望 ☐ 日本以外の国()へ留学希望 ☐ その他()
----	--------------------------	---

職歴	期間	勤務先・企業名	所在地 (国と都市名)	職務内容・部署名・役職名
	2013年11月~2015年3月	〇〇有限公司	台湾・台北	SE 課・システムエンジニア
	年 月~ 年 月			

兵役	過去	なし 年 月 ~ 年 月	将来の予定	なし 年 月 ~ 年 月 予定・未定
----	----	--------------	-------	--------------------

ブランク	2019年4月~2020年9月	理由	アルバイト、留学準備
------	-----------------	----	------------

趣味・特技等	賞	趣味・特技	資格・免許
その他	⑤ 特にありません	読書、ピアノ、写真、書道	普通自動車免許・TOEIC900点

家族状況 (2023年4月1日現在)

家族状況	氏名	続柄	年齢	現住所	勤務先と部署・役職・学年・学年名 (具体的に、詳しく記入すること)	年収 (円換算)
	吳 〇〇	父	55	台湾台北市〇〇街〇号〇〇ビル××	〇〇有限公司・〇〇部・課長	365 万円
	邱 〇〇	母	53	同上	△△有限公司・パート勤務	98 万円
	吳 〇〇	妹	22	同上	□□大学××学部4年	0 万円
						万円
	⑥				⑦	⑧ 万円

＜応募所定用紙②-2「履歴書・身上書」2ページ目 経済状況欄＞

①学内奨学金以外の奨学金を記載する。奨学金受給期間が1年未満の場合、総受給額を12で割った金額を「奨学金(月額)」の欄に記入する。

②貯金を切り崩して生活している場合は、この欄に記載する(月平均額)。

③学内奨学金を受給した場合もこの欄に記入し、余白に学内奨学金の名称を記載する。授業料一部減免と学内奨学金の両方得た場合は、合算した額を記入する。

④同居人「あり」の場合は、余白に全体の家賃を記載し、月額欄には実際に本人が負担している按分金額を記入する。

⑤収入と支出の差が僅かである場合(授業料・住居費以外の生活費が賄えないと思われる場合)、選考委員会で記載内容の正確性、信ぴょう性について疑義が呈されるため、別紙に理由詳細を添付すること。

⑥申請予定「なし」にマークした場合は、必ず理由を記入する。

⑦申請中の他奨学金が複数ある場合には、欄外の余白にすべて記載する。

経済状況		氏名: 呉 豊 登	
令和4年度の状況	収入内訳 (月平均金額を記入する)		支出内訳
	仕送り 月額 45,000 円 うち授業料充当分 (月額 25,000 円) 送金者名 (呉 ○○) 申請者との関係 (父)	授業料分を引いた仕送り月額 20,000 円	③ 授業料 実際に支払った授業料: 年額 357,200 円 上記金額は、 ☐ 免除なし ☒ 一部減免後(減免額 178,600 円) ☐ 全額免除後 そのうち、仕送りで支払った額: 月額 25,000 円 × 12 = 年額 300,000 円 仕送りで支払った額を引いた、授業料本人負担月額 4,766 円
	① 奨学金 奨学金の名称: (なし) 期間: 年 月 ~ 年 月	月額 0 円	同居人: ☐ なし ☒ あり(1名)・申請者との関係 (友人) ④ 居住形態: ☐ 国際交流会館 ☐ 寮 ☒ アパート 家賃 9 万円を友人と折半 月額 45,000 円
	② その他収入 ☒ アルバイト 内容 (ローソン) 時給 (1,100 円) 月額 62,000 円 ☐ その他 (貯金で賄う) 月額 5,000 円	月額 67,000 円	⑤ 月平均収入 計 月額 87,000 円 月平均授業料・住居費 計 月額 49,766 円
令和5年度見込み	収入内訳 (月平均金額を記入する)		支出内訳
	仕送り 月額 45,000 円 うち授業料充当分 (月額 44,650 円) 送金者名 (呉 ○○) 申請者との関係 (父)	授業料分を引いた仕送り月額 350 円	授業料 授業料: 年額 535,800 円 免除が現時点で確定している場合、上記金額は、 ☐ 一部減免後(減免額 〇 円) ☐ 全免除 そのうち、仕送りで支払った額: 月額 44,650 円 × 12 = 年額 535,800 円 仕送りで支払った額を引いた、授業料本人負担月額 0 円
	その他収入 ☐ アルバイト 内容 (ローソン) 時給 (1,100 円) 月額 72,000 円 ☐ その他 () 月額 〇 円	月額 72,000 円	⑥ 授業料免除が未確定の場合: ☒ 申請中(予定)→申請種類 ☐ 全額免除 ☐ 一部減免 ☐ 免除の種類は大学側が決定 結果発表予定 2023 年 11 頃 ☐ 申請予定なし(理由:) ☐ 免除制度なし
	同居人: ☐ なし ☐ あり(名)・申請者との関係 () 居住形態: ☐ 国際交流会館 ☐ 寮 ☐ アパート ☐ その他 ()	月額 75,000 円	⑦ 月平均収入 計 月額 72,350 円 月平均授業料・住居費 計 月額 75,000 円
併願状況	令和5年度のため大学推薦以外に個人で他の奨学金に ☐ 応募していない ☒ 応募している (複数ある場合は余白に記入) 申請中の他奨学金 名称: ○○奨学金 月額 100,000 円 期間: 2023 年 4 月 ~ 2024 年 3 月 結果発表予定: 2023 年 3 月 5 日 ※併願している他の奨学金に採択された場合、当該奨学金を優先する方のみ応募可能です		

※下の見本のように、表面と裏面がA4用紙 1 枚に収まるようにコピーしてください
※有効期限内であること、記載住所が現在の住所であることをご確認ください